

月経不順の場合はプラノバールを10日間内服して高温相の状態を作り、月経を起こさせます

[   /   ~   /   ]

ピル

# 1 プロゲステロンで排卵を抑制する

- 月経2～3日目からhCGを注射する日の朝までプロベラ錠（1日4錠）を内服して排卵を抑制します
- 子宮内膜が排卵後の状態に変化して胚移植は行えないので全胚凍結します

プロゲステロン

# 3 hCGで卵を成熟させる

- 21:00（時間厳守）にオビドレルを自己注射します
- OHSSのリスクが高い場合はカベルゴリンを夜から8日間内服してください

hCG



今回の治療についてお知らせください

- 絶対に受診できない日
- ない   /   .   /   .   /
- 服用中の薬やサプリメントなど
- プロバイオティクス    ラクトフェリン
- VD    バファリン    柴苓湯    他
- 希望するアドオンなど
- 採卵時の静脈麻酔
- タイムラプス培養（ USBメモリ）
- 膜構造による精子選別術
- PGT

※ 今回の治療計画時に43歳未満であれば保険適用です（前回保険適用で全胚凍結した後の初回の凍結胚移植を除きます）

※ 保険適用の周期では先進医療を除く保険適用外の検査や治療（PRP療法、PGT、タクロリムス療法など）を併用できません

# 2 FSHで卵胞を育てる

FSH

- 月経2～3日目からFSH [                    ] 単位を7日間自己注射します
- 8回目以降は数日ごとに超音波検査を行い卵胞径が約18mmになるまでFSHとプロゲステロンを続けます

★ 自己注射の手技を動画で確認できます



ゴナルエフ



レコベル



フォリスチム

# 4 採卵・採精

- 朝食を軽くとり、ナプキン、生理用ショーツを持参し、8:00に入院入口のインターホンで来院を伝えて2階ナースステーションにお越しください
- 【手順】 着替え→鎮痛坐剤を挿入→採血と点滴→採卵→病室で静養→昼頃に胚培養士が説明

※ 検査結果が出て月経が始まったら凍結胚移植を計画できます。

**PPOS法** [ 保険 / 自費 ]

